

【普通作物】の【長雨・日照不足】対策について

<4月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【早期水稲】（育苗・移植期～分けつ期）

（1）予想される被害状況

- ① 苗が軟弱徒長になりやすい。
- ② 苗立枯れ病やいもち病の病害が発生しやすくなる。
- ③ 軟弱苗を移植した場合、本田除草剤の影響を受けることがある。

（2）事前対策

- ① 育苗ハウスの換気を徹底する。
※なお、低温時の寒害に注意する。
- ② 苗箱の床土が過湿とならないよう、かん水量を減らす。
- ③ 徒長した苗は、葉先を剪除する。
- ④ 移植後、余り苗はいもち病が発生しやすいので直ちに処分する。
- ⑤ 本田除草剤の散布は、使用範囲の中で遅めにする。

（3）事後対策

- ① 苗立枯れ病やいもち病の防除を遅れないように行う。

【ムギ】（出穂期～成熟期）

- ① 湿害により生育不良となり、収量が低下する。
- ② 赤カビ病やうどんこ病等が発生しやすくなる。

（2）事前対策

- ① ほ場周囲及び畦間に排水溝を設置する。
- ② 赤カビ、うどんこ病等の防除を行う。

（3）事後対策

- ① 収穫時は赤カビなど被害粒の発生状況を確認し刈分けを行う。
- ② 赤カビは収穫後も多湿条件では発生するので、速やかに乾燥する。